

園芸用殺菌剤

ランマン[®]
フロアブル

べと病、疫病に
優れた効きめ!!

根こぶ病、白さび病、褐色腐敗病、
根茎腐敗病にも!



特長

- 1.べと病・疫病・白さび病・褐色腐敗病・根茎腐敗病などの卵菌綱病害と、あぶらな科作物の根こぶ病に対し、高い防除効果。
- 2.低濃度で優れた予防効果。
- 3.優れた残効性と耐雨性で、安定した効果。
- 4.卵菌綱病害の全ての生育ステージを、低濃度で阻害。
- 5.高度な次世代菌密度低減効果(サニテーション効果)。
- 6.有用生物(マルハナバチ、ミツバチ、天敵類)や、ワイン発酵酵母への影響が殆どない。
- 7.果面の汚れや、果粉溶脱が少ない。

適用作物と使用方法

本内容は、平成26年12月17日付の登録内容に基づいています。

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアゾファミドを含む農薬の総使用回数
ぶどう	べと病	1,000~2,000	200~700	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
かんきつ	褐色腐敗病	2,000		収穫前日まで			
いちじく	疫病	1,000	100	根雪前	3回以内	無人ヘリコプターによる散布	3回以内
小麦	褐色雪腐病	250	25				
		8	0.8				
ばれいしょ	疫病	1,000~2,000	100~300	収穫7日前まで	4回以内	無人ヘリコプターによる散布	4回以内
		375	25				
		600	40				
あずき	茎疫病	原液	種子重量の2%	は種前	1回	種子塗沫	4回以内 (種子処理:1回以内、 散布:3回以内)
		1,000	100~300	収穫7日前まで	3回以内	散布	
だいず	べと病	原液	種子重量の1~2%	は種前	1回	種子塗沫	
		1,000~2,000	100~300	収穫7日前まで	3回以内	散布	
えだまめ	茎疫病	原液	種子重量の2%	は種前	1回	種子塗沫	3回以内
		1,000~2,000	100~300	収穫3日前まで	3回以内	散布	
らっきょう	白色疫病	2,000		100~300	収穫7日前まで		4回以内
たまねぎ	べと病		150~300	収穫3日前まで	3回以内		
ねぎ		100~300	4回以内				
わけぎ	1,000~2,000			150~300	4回以内		
葉たまねぎ		1,000	100~300			4回以内	
きゅうり・メロン	1,000~2,000			150~300	4回以内		
ズッキーニ		1,000	100~300			4回以内	
すいか	褐色腐敗病			1,000~2,000	150~300		収穫前日まで
とうがん	疫病	2,000	150~300	3回以内		3回以内	
かぼちゃ	べと病			1,000~2,000	150~300		4回以内
なす	褐色腐敗病	2,000	150~300			4回以内	
トマト・ミニトマト	疫病			500~1,000	50ml/株		育苗期
ピーマン		100ml/株	生育期 但し、 収穫30日前まで		2回以内		
とうがらし類	疫病	2,000	100~300	収穫3日前まで	4回以内	6回以内 (育苗期の灌注: 1回以内、 本圃での灌注: 1回以内、 散布:4回以内)	
いちご	べと病		100~300	収穫3日前まで	4回以内		
キャベツ	根こぶ病	2,000	250ml/株	収穫14日前まで	1回	4回以内 (灌注:1回以内、 散布:3回以内)	
		500	2ℓ/1箱 ※1	定植前日~当日	1回		
はくさい	べと病	2,000	250ml/株	収穫14日前まで	1回	4回以内 (灌注:1回以内、 散布:3回以内)	
		2,000	100~300	収穫3日前まで	4回以内		
ブロッコリー	根こぶ病	2,000	100~300	収穫3日前まで	3回以内	4回以内 (灌注:1回以内、 散布:3回以内)	
		500	2ℓ/1箱 ※1	定植前日~当日	1回		
かぶ	白さび病 べと病	2,000	2ℓ/m ²	は種時	3回以内	4回以内 (は種時の灌注: 1回以内、 散布:3回以内)	
			2ℓ/m ²	は種時			
だいこん	白さび病	2,000	100~300	収穫3日前まで	3回以内	3回以内	
はつかいだいこん	ワッカ症						
はつかいだいこん	べと病	2,000	100~300	収穫3日前まで	3回以内	3回以内	
非結球あぶらな科 葉菜類	白さび病						
なばな類 (なばなを除く)	白さび病	500	2ℓ/1箱 ※1	定植前日~当日	1回	4回以内 (灌注:1回以内、 散布:3回以内)	
なばな	根こぶ病						
レタス・非結球レタス ほうれんそう	べと病	2,000	100~300	収穫3日前まで	3回以内	3回以内	
エンサイ	白さび病		150~300	畑育苗期	2回以内		
わさび		収穫7日前まで					
畑わさび	収穫3日前まで						
おかひじき	べと病	100~300	収穫3日前まで 但し、 伏せ込み栽培は 伏せ込み前まで	2回以内	2回以内		
みつば	根腐病	500~1,000	3ℓ/m ²	収穫14日前まで	3回以内	3回以内	
こんにゃく	根腐病	500	1~3ℓ/m ²	生育期 但し、 収穫30日前まで			
みょうが(花穂)			2~3ℓ/m ²	※2			
みょうが(莖葉)	500~1,000	3ℓ/m ²	生育期 但し、 収穫30日前まで	3回以内	土壌灌注	3回以内	
しょうが			3ℓ/m ²				生育期 但し、 収穫30日前まで
葉しょうが	3ℓ/m ²	生育期 但し、 収穫30日前まで					

※1:セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm、使用土壌約2.5~7ℓ)

※2:みょうが(莖葉)での使用時期は、「みょうが(花穂)の収穫3日前まで。但し、花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで。」

本印刷物は、平成27年1月時点での知見に基づいて作成しています。

園芸用殺菌剤

ランマン[®]

フロアブル

成分:シアゾファミド...9.4%(W/W)
(10.0%(W/V))

人畜毒性・普通物(毒劇物に該当しないものを指している)

上手な使い方

- ★病害虫の初期発生源となる圃場内や周辺の雑草除去、および前作物の被害残渣や罹病株の処理を適切に行いましょう。
- ★農薬の使用に当たっては...
 - ・同系統薬剤の連用をさけ、ローテーション防除を心掛けましょう。
 - ・農薬の有効成分総使用回数を守りましょう。
- ★本剤は灰色かび病や炭疽病、うどんこ病、夏疫病、軟腐病、葉かび病、輪紋病、晚腐病、黒痘病に防除効果がありますので、それらの病害が同時発生する場合は、これらに有効な薬剤と組み合わせて使用してください。

効果・薬害等の注意

- 使用直前に容器をよく振ってください。
- 予防効果主体なので、できるだけ発病前または発病初期に散布してください。
- 小麦、ばれいしょに対して少量散布で使用する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度運動式地上液剤散布装置を使用してください。
- 根こぶ病防除に使用する場合は、発病が激しい圃場では効果が劣ることがありますので、土壌処理剤と組み合わせ使用してください。
- キャベツに灌注処理する場合、品種によっては初期に軽度の生育抑制がみられることがありますが、実用上は問題はありません。
- 本剤を使用したわさびの苗を畑地からわさび田に移植する場合には、使用した農薬がわさび田の水系に持ち込まれないよう、わさびの苗に付着した土を十分に洗い落とすようにしてください。
- だいずおよびえだまめの種子塗沫に使用する場合の注意事項
 - ・使用前に容器をよく振ってから塗沫処理を行ってください。
 - ・薬剤の使用量を守り、水等で希釈せずに使用してください。
 - ・塗沫処理は種当日または前日に行ってください。
 - ・薬剤が種子に均一に付着するように処理した後、すみやかに広げて乾燥させてください。
 - ・本剤を処理した種子を食用など目的外に使用しないでください。
 - ・本剤処理後の種から発芽までの時期は土壌が過湿にならないように注意してください。
- 散布器具の洗浄水および残りの薬液は河川等に流さず、容器等は環境に影響を与えないよう安全に処理してください。
- 散布液量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節してください。
- 使用にあたっては、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめ使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

安全使用上の注意

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
 - 使用の際は不浸透性手袋などを着用してください。
 - かぶれやすい体質の人は、取扱いに十分注意してください。
 - 畜に対して影響があるので、周辺の畜業にはかからないようにしてください。
 - 密封し、直射日光を避け、食品と区別して、冷涼な場所に保管してください。
- ※無人ヘリコプターによる散布の場合は、無人ヘリコプター散布に関するラベル注意事項を守ってください。

ラベルを守って正しく使用しましょう!

適用作物、薬量(希釈倍数)、
使用時期、使用回数を守りましょう
石原は「食の安全」を大切にします

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。
洗浄水はタンクに入れてください。

ISK 石原バイオサイエンス株式会社

〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号

ホームページ アドレス <http://ibj.iskweb.co.jp>

取り扱い

適用作物と使用方法

本内容は、平成26年12月17日付の登録内容に基づいています。

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアゾファミドを含む農薬の総使用回数
ぶどう	べと病	1,000~2,000	200~700	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
かんきつ	褐色腐敗病	2,000		収穫前日まで			
いちじく	疫病	1,000	100	根雪前	無人ヘリコプターによる散布	3回以内	
小麦	褐色雪腐病	250	25				
		8	0.8				
ばれいしょ	疫病	1,000~2,000	100~300	収穫7日前まで	4回以内	無人ヘリコプターによる散布	4回以内
		375	25				
		600	40				
あすき	茎疫病	原液	種子重量の2%	は種前	1回	種子塗沫	4回以内 (種子処理:1回以内、 散布:3回以内)
		1,000	100~300	収穫7日前まで	3回以内	散布	
だいず	べと病	原液	種子重量の1~2%	は種前	1回	種子塗沫	
		1,000~2,000	100~300	収穫7日前まで	3回以内	散布	
えだまめ	茎疫病	原液	種子重量の2%	は種前	1回	種子塗沫	
らっきょう	白色疫病	2,000	100~300	収穫3日前まで	3回以内	散布	4回以内
				収穫7日前まで	4回以内		
たまねぎ	べと病	2,000	150~300	収穫3日前まで	3回以内	散布	4回以内
ねぎ							
わけぎ							
葉たまねぎ	1,000~2,000	150~300	100~300	収穫3日前まで	3回以内	散布	4回以内
きゅうり・メロン							
ズッキーニ							
すいか	褐色腐敗病	1,000~2,000	150~300	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
とうがん	疫病	2,000					
かぼちゃ	べと病						
なす	褐色腐敗病	1,000~2,000	150~300	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
トマト・ミニトマト	疫病						
ピーマン とうがらし類	疫病	2,000	50mℓ/株	育苗期	2回以内	土壌灌注	4回以内 (育苗期:2回以内、 定植後:2回以内)
いちご	疫病	1,000~2,000					
キャベツ	べと病	2,000	100~300	収穫3日前まで	4回以内	散布	6回以内 (育苗期の灌注: 1回以内、 本圃での灌注: 1回以内、 散布:4回以内)
	根こぶ病	500	250mℓ/株	収穫14日前まで	1回	灌注	
はくさい	べと病	2,000	2ℓ/1箱*1	定植前日~当日	1回	灌注	4回以内 (灌注:1回以内、 散布:3回以内)
	ビシウム腐敗病	100~300	250mℓ/株	収穫14日前まで	1回	散布	
ブロッコリー	べと病	2,000	100~300	収穫3日前まで	3回以内	散布	4回以内 (灌注:1回以内、 散布:3回以内)
	根こぶ病	500	2ℓ/1箱*1	定植前日~当日	1回	灌注	
かぶ	白さび病 べと病	2,000	100~300	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内
はつかだいごん	ワッカ症	2,000	100~300	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内
非結球あぶらな科 葉菜類	べと病						
なばな類 (なばなを除く)	白さび病	500	2ℓ/1箱*1	定植前日~当日	1回	灌注	4回以内 (灌注:1回以内、 散布:3回以内)
なばな	根こぶ病						
レタス・非結球レタス ほうれんそう	べと病	2,000	100~300	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内
エンサイ							
わさび	白さび病	2,000	150~300	畑育苗期	2回以内	散布	2回以内
畑わさび				収穫7日前まで			
おかひじき	べと病	2,000	100~300	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
みつば				但し、 伏せ込み栽培は 伏せ込み前まで			
こんにゃく	根腐病	500~1,000	3ℓ/m ²	収穫14日前まで	3回以内	土壌灌注	3回以内
みょうが(花穂)	根茎腐敗病	500		生育期 但し、 収穫3日前まで			
みょうが(莖葉)			※2	1~3ℓ/m ² 2~3ℓ/m ²	生育期 但し、 収穫30日前まで		
しょうが	生育期 但し、 収穫30日前まで						
葉しょうが	500~1,000	3ℓ/m ²	生育期 但し、 収穫3日前まで				

*1:セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm、使用土壌約2.5~7ℓ)

*2:みょうが(莖葉)での使用時期は、「みょうが(花穂)の収穫3日前まで。但し、花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで。」

本印刷物は、平成27年1月時点での知見に基づいて作成しています。

園芸用殺菌剤

ランマン[®]

フロアブル

成分:シアゾファミド...9.4%(W/W)
(10.0%(W/V))
人畜毒性:普通物(毒劇物に該当しないものを指している)

上手な使い方

- ★病害虫の初期発生源となる圃場内や周辺の雑草除去、および前作物の被害残渣や罹病株の処理を適切に行いましょう。
- ★農薬の使用に当たっては...
 - ・同系統薬剤の連用を避け、ローテーション防除を心掛けましょう。
 - ・農薬の有効成分総使用回数を守りましょう。
- ★本剤は灰色かび病や炭疽病、うどんこ病、夏疫病、軟腐病、葉かび病、輪紋病、晩腐病、黒痘病に防除効果がありますので、それらの病害が同時発生する場合は、これらに有効な薬剤と組み合わせ使用してください。

△効果・薬害等の注意

- 使用前に容器をよく振ってください。
- 予防効果主体なので、できるだけ発病前または発病初期に散布してください。
- 小麦、ばれいしょに対して少量散布で使用の場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度運動式地上液剤散布装置を使用してください。
- 根こぶ病防除に使用する場合、発病が激しい圃場では効果が劣ることがありますので、土壌処理剤と組み合わせ使用してください。
- キャベツに灌注処理する場合、品種によっては初期に軽度の生育抑制がみられることがありますが、実用上は問題はありません。
- 本剤を使用したわさびの苗を畑地からわさび田に移植する場合には、使用した農薬がわさび田の水系に持ち込まれないよう、わさびの苗に付着した土を十分に洗い落とすしてください。
- だいずおよびえだまめの種子塗沫に使用する場合の注意事項
 - ・使用前に容器をよく振ってから塗沫処理を行ってください。
 - ・薬剤の使用量を守り、水等で希釈せずに使用してください。
 - ・塗沫処理はは種当日または前日に行ってください。
 - ・薬剤が種子に均一に付着するように処理した後、すみやかに広げて乾燥させてください。
 - ・本剤を処理した種子を食用など目的外に使用しないでください。
 - ・本剤処理後は種から発芽までの時期は土壌が過湿にならないように注意してください。
- 散布器具の洗浄水および残りの薬液は河川等に流さず、容器等は環境に影響を与えないよう安全に処理してください。
- 散布液量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節してください。
- 使用にあたっては、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめ使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

△安全使用上の注意 ①

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- 使用の際は不浸透性手袋などを着用してください。
- かぶれやすい体質の人は、取扱いに十分注意してください。
- 蜜に対して影響があるので、周辺の養蜂にはかからないようにしてください。
- 密封し、直射日光を避け、食品と区別して、冷涼な場所に保管してください。
- ※無人ヘリコプターによる散布の場合は、無人ヘリコプター散布に関するラベル注意事項を守ってください。

ラベルを持って正しく使用しましょう!

適用作物、薬量(希釈倍数)、
使用時期、使用回数を守りましょう
石原は「食の安全」を大切にします

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。
洗浄水はタンクに入れてください。

適用作物と使用方法

本内容は、平成26年12月17日付の登録内容に基づいています。

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアゾファミドを含む農薬の総使用回数
ぶどう	べと病	1,000~2,000	200~700	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
かんきつ	褐色腐敗病	2,000		収穫前日まで			
いちじく	疫病	2,000		収穫前日まで			
小麦	褐色雪腐病	1,000	100	根雪前	3回以内	無人ヘリコプターによる散布	3回以内
		250	25				
		8	0.8				
ばれいしょ	疫病	1,000~2,000	100~300	収穫7日前まで	4回以内	散布	4回以内
		375	25				
		600	40				
あすき	茎疫病	原液	種子重量の2%	は種前	1回	種子塗沫	4回以内 (種子処理:1回以内、 散布:3回以内)
		1,000	100~300	収穫7日前まで	3回以内	散布	
だいず	べと病	原液	種子重量の1~2%	は種前	1回	種子塗沫	
		1,000~2,000	100~300	収穫7日前まで	3回以内	散布	
えだまめ	茎疫病	原液	種子重量の2%	は種前	1回	種子塗沫	
らっきょう	白色疫病	2,000	100~300	収穫3日前まで	3回以内	散布	4回以内
				収穫7日前まで	4回以内		
たまねぎ	べと病	2,000	150~300	収穫3日前まで	3回以内	散布	4回以内
ねぎ							
わけぎ							
葉たまねぎ							
きゅう・メロン	褐色腐敗病	1,000~2,000	150~300	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
ズッキーニ		1,000	100~300				
すいか	疫病	1,000~2,000	150~300	収穫3日前まで	3回以内	散布	4回以内
とうがん				2回以内	2回以内		
かぼちゃ	褐色腐敗病	2,000	150~300	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
なす				4回以内	4回以内		
トマト・ミニトマト	疫病	1,000~2,000	150~300	育苗期	2回以内	土壌灌注	4回以内 (育苗期:2回以内、 定植後:2回以内)
ピーマン とうがらし類							
いちご	べと病	2,000	50mℓ/株	生育期 但し、 収穫30日前まで	2回以内	散布	4回以内 (育苗期の灌注:1回以内、 本圃での灌注:1回以内、 散布:4回以内)
キャベツ			100mℓ/株	収穫3日前まで	4回以内		
はくさい	根こぶ病	500	2ℓ/1箱 ^{※1}	定植前日~当日	1回	灌注	6回以内 (育苗期の灌注:1回以内、 本圃での灌注:1回以内、 散布:4回以内)
	べと病	2,000	250mℓ/株	収穫14日前まで	1回		
ブロッコリー	べと病	2,000	100~300	収穫3日前まで	3回以内	散布	4回以内 (灌注:1回以内、 散布:3回以内)
	根こぶ病	500	2ℓ/1箱 ^{※1}	定植前日~当日	1回		
かぶ	白さび病 べと病	2,000	100~300	2ℓ/m ²	は種時	散布	4回以内 (は種時の灌注:1回以内、 散布:3回以内)
だいこん							
はつがいだいこん	ワッカ症	2,000	100~300	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内
	べと病						
非結球あぶらな科 葉菜類	白さび病	2,000	100~300	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内
なばな類 (なばなを除く)							
なばな	根こぶ病	500	2ℓ/1箱 ^{※1}	定植前日~当日	1回	灌注	4回以内 (灌注:1回以内、 散布:3回以内)
レタス・非結球レタス ほうれんそう							
エンサイ	白さび病	2,000	150~300	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
わさび							
畑わさび	べと病	2,000	100~300	畑育苗期	2回以内	散布	2回以内
おかひじき							
みつば	根腐病	500~1,000	3ℓ/m ²	収穫3日前まで	3回以内	土壌灌注	3回以内
こんにゃく							
みょうが(花穂)	根茎腐敗病	500	3ℓ/m ²	生育期 但し、 収穫3日前まで	3回以内	土壌灌注	3回以内
みょうが(莖葉)				※2			
しょうが				生育期 但し、 収穫30日前まで			
葉しょうが	根腐病	500~1,000	3ℓ/m ²	生育期 但し、 収穫3日前まで	3回以内	土壌灌注	3回以内
しょうが							

※1:セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm、使用土壌約2.5~7ℓ)

※2:みょうが(莖葉)での使用時期は、「みょうが(花穂)の収穫3日前まで。但し、花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで。」

本印刷物は、平成27年1月時点での知見に基づいて作成しています。

園芸用殺菌剤

ランマン[®]

フロアブル

成分・シアゾファミド…9.4%(W/W)
(10.0%(W/V))

人畜毒性・普通毒(毒劇物に該当しないものを指している)

上手な使い方

- ★病害虫の初期発生源となる圃場内や周辺の雑草除去、および前作物の被害残渣や罹病株の処理を適切に行いましょう。
- ★農薬の使用に当たっては…
 - ・同系統薬剤の連用を避け、ローテーション防除を心掛けましょう。
 - ・農薬の有効成分総使用回数を守りましょう。
- ★本剤は灰色かび病や炭疽病、うどんこ病、夏疫病、軟腐病、葉かび病、輪紋病、晚腐病、黒痘病に防除効果がありますので、それらの病害が同時発生する場合は、これらに有効な薬剤と組み合わせて使用してください。

効果・薬害等の注意

- 使用直前に容器をよく振ってください。
- 予防効果主体なので、できるだけ発病前または発病初期に散布してください。
- 小麦、ばれいしょに対して少量散布で使用の場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度運動式地上液剤散布装置を使用してください。
- 根こぶ病防除に使用する場合、発病が激しい圃場では効果が劣ることがありますので、土壌処理剤と組み合わせで使用してください。
- キャベツに灌注処理する場合、品種によっては初期に軽度の生育抑制がみられることがありますが、実用上は問題はありません。
- 本剤を使用したわさびの苗を畑からわさび田に移植する場合には、使用した農薬がわさび田の水系に持ち込まれないよう、わさびの苗に付着した土を十分に洗い落としてください。
- だいずおよびえだまめの種子塗沫に使用する場合の注意事項
 - ・使用前に容器をよく振ってから塗沫処理を行ってください。
 - ・薬剤の使用量を守り、水等で希釈せずに使用してください。
 - ・塗沫処理はは種当日または前日に行ってください。
 - ・薬剤が種子に均一に付着するように処理した後、すみやかに広げて乾燥させてください。
 - ・本剤を処理した種子を食用など目的外に使用しないでください。
- 本剤処理後のは種から発芽までの時期は土壌が過湿にならないように注意してください。
- 散布器具の洗浄水および残りの薬液は河川等に流さず、容器等は環境に影響を与えないよう安全に処理してください。
- 散布液量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節してください。
- 使用にあたっては、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除等関係機関の指導を受けるようにしてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめ使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除等関係機関の指導を受けるようにしてください。

安全使用上の注意

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
 - 使用の際は不浸透性手袋などを着用してください。
 - かぶれやすい体質の人は、取扱いに十分注意してください。
 - 畜に対して影響があるので、周辺の糞葉にはかからないようにしてください。
 - 密封し、直射日光を避け、食品と区別して、冷涼な場所に保管してください。
- ※無人ヘリコプターによる散布の場合は、無人ヘリコプター散布に関するラベル注意事項を守ってください。

ラベルを守って正しく使用しましょう!

適用作物、薬量(希釈倍数)、
使用時期、使用回数を守りましょう
石原は「食の安全」を大切にします

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。
洗浄水はタンクに入れてください。